平成31年4月15日発行　2019年4月号　小淀ホーム広報誌　通巻73号

KOYODO HOME

寿楽 小淀ホーム

JYURAKU Since 1996

平成31年4月号

温かい季節になり、神田川沿いの桜も見事に咲き誇っていました。
やわらかな陽光のもとみなさんとお花見に出かけました。

満開の桜を思いっきり楽しみました。
鳥たちも楽しそうでした。

桜は、いいね～～

「(^^♪　春は、花がたくさんでいいですね」と節をつけて歌い、みなさん終始ニコニコされてました。

桜以外にもたくさんの花が咲いていました。

チューリップ
小淀ホーム前の花壇にて

こぶし

かいどう

つばき

やまぶき

職員紹介

平成31年4月から異動や新規採用による新たな職員をご紹介します。
どうぞよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム　介護職
主任　西山ケアワーカー
しらさぎホームから参りました。明るく元気なホームにしていきます。

特別養護老人ホーム　介護職
安藤ケアワーカー
新規採用です。笑顔で頑張ります。

厨房スタッフのみなさん
皆様においしい食事、食の楽しみをお届けします。

送迎ドライバーのみなさん
デイサービス利用者様の送迎、特養利用者様の受診の送迎を実施します。
安全運転に心がけて運行いたします。

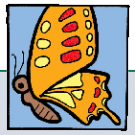
その他の異動のお知らせ

転入
- 特別養護老人ホーム　上原ケアワーカー（しらさぎホームより）
- 特別養護老人ホーム　田中看護師（しらさぎホームより）

転出
- 特別養護老人ホーム　主任　長島ケアワーカー（しらさぎホームへ）
- 特別養護老人ホーム　小林ケアワーカー（しらさぎホームへ）

平成31年度事業計画

今年度は、利用者様が喜びを感じ、職員もやりがいを感じることでサービスの向上を目指します。また、福祉機器をＩＴ化することで安全の向上と業務の効率化、そして、人材確保、地域連携を強化します。



1. 運営理念

「スマイル小淀！私たち自身が受けたいサービスを、必要とする人に届けます」

2. 小淀ホームの重要課題

小淀ホームでは、認知症ケアの方法を改めて見直し、さらに寄り添える介護をすることで利用者の笑顔を引き出し、職員のやりがいにもつなげていくことが必要と考えています。また、IoTを活用した機器の導入を進め、業務の効率化や利用者の安全確保目指し、将来に向けた基盤を整備します。また、介護の専門職としての役割を拡充するため地域とのつながりをより密接なものにします。

3. 小淀ホームの重点目標

ア　利用者中心の個別ケアを推進するためチームでの実施と充実～小淀ケア～

①「利用者がやりたいこと」（観劇、思い出の銘菓が食べたいなど）に応え、笑顔になれる場面を増やします。

②質の高いケアの提供をホーム全体で取り組みます。

（ｉ）ホーム内の部署間で交流することにより協力関係を発展させ、チーム力をアップします。

（ii）認知症ケアの充実のため、寄り添え安心して過ごせるように新たなケア方法を研究し、取り入れます。

③新たな福祉機器の導入により、業務の効率化や利用者の安全向上を目指します。

イ　多様な人材の活用

人材確保策の拡充として外国人留学生を受け入れるなど態勢を充実させます。円滑な受け入れや働きやすい職場づくりを進め、人材定着による安定した運営にします。

ウ　地域福祉の未来を担う活動の実践

地域の認知症の人と家族、地域住民、専門職等が一体となり地域活動を展開することで安心して暮らせる地域になるよう取り組みます。